

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 緑内障手術後患者の点眼手技習得に影響を及ぼす要因

研究の目的

緑内障においては、点眼は重要な治療の一つです。入院中に点眼指導を行います。点眼手技を習得できない方もいらっしゃいます。そこで私たちは、緑内障の手術を受けた患者さんの身体的状態、視力や視野、点眼指導状況に着目し、点眼手技の習得に関連する要因を明らかにします。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2025年12月31日

対象となる方： 2022年6月~2023年3月に附属病院眼科で緑内障手術を行い、入院中に看護師より点眼指導を受けた患者162名のうち、家族が点眼する患者を除いた157名。

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテと看護記録に記載されている情報のうち、性別、年齢、術眼の左右、点眼協力者の有無、視力（術前）、視野（術前）、聴力障害の有無、降圧点眼の実施歴、入院前に外来での点眼指導実施の有無、認知機能低下の有無、入院中の指導回数、退院時の点眼本数、点眼手技不良の内容、点眼方法について、標記研究のために利用します。

具体的には、患者さんの身体的状態、視力や視野、点眼指導状況について統計解析的手法を用いて比較することで、緑内障の手術を受けた患者さんの点眼手技の習得に関連する要因を明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

弘前大学医学部附属病院 看護部（第二病棟7階） 丹代 里美
連絡先電話番号：0172-39-5275 Mail：tann0727@hirosaki-u.ac.jp